



# まち現場レポート①

発行 平成11年5月  
(株)荒川すまいづくりセンター



## 4年生 マンションの工事現場を見学

5月20日、区立第二峡田小学校の4年生が建設中の8階建マンション、「ダイアパレス町屋」の工事現場を見学しました。安全な建物を建てるために、長い「杭(つつ)」を地面深くの「かたい土」までうめる作業をしていました。現場はとてもパワフルでした。

### 働く人

このマンションの前にはどんな建物を建てていたのか?

工事の様子を分かりやすく説明してくれた岡村さんはこの工事現場の所長さんです。岡村さんをはじめ、たくさんの方が力を合わせてマンションを完成させていきます。どんなふうにつくられていくのか、みんなで見守っていきましょう。

### 写真日記



1 ■「杭」をつなげているところ。



2 ■どんどん「杭」が地面に埋められていく。掘り出されたやわらかいドロドロの土をパワーシャベルでうけとめている。



3 ■全部で3本の「杭」がうめこまれた。かたい土までといたかな?

お名前 岡村 典和さん  
のりかす 典和さん  
から みんなへ



何もないところからものを削るといって、大変なこと。時間や場所が違えば、同じマンションでも削る方法や使う機械も全くちがっていて、同じ建物は一つもありません。たとえ大きな機械を使っても世界でひとつしかない手作りなのです。

何もないところからものを削るといって、想像以上に大変なこと。時間や場所が違えば、同じマンションでも削る方法や使う機械も全くちがっていて、同じ建物は一つもありません。たとえ大きな機械を使っても世界でひとつしかない手作りなのです。

どんな風に建物ができていくのか何回か見てもらい、少しでも私たちの”何もないところから削るおもしろさ”が伝わればと思います。

## 現場で働く巨大マシン

工事現場にある巨大な機械にとって土を運ぶのなんて朝飯前?

この大きな機械を動かすには特別な免許がいるんだよ。パワーシャベル(バックホー)の勉強をピカイチくん(キンキキッズ)がやってるよ。

電話 03-3801-8184

FAX 03-3801-8376

Eメール dwork0@ibm.net



(株)荒川すまいづくりセンター

質問、載せてほしいことなど受け付けてます。

クローラー  
クレーン

ぜんねあつしき  
金油圧式  
バイルドライバー



バックホー=パワーシャベル  
(通称 ユンボ)



# げんば まち現場レポート②



発行 平成11年6月7日

(株)荒川すまいづくりセンター (担当 伊藤)

電話03-3801-8184 FAX03-3801-8376

E-mail dwork0@ibm.net



## 第2回・現場見学 掘切り作業

第二峡田小の4年生のみんなが6月2日の午前中、今度は掘切りといって地面を掘る作業を見学しました。またまた巨大な、通称コンボが活躍し、アッという間に地面に大きな穴があきました。



## その後の穴

子供達が見た穴には2日後、ミキサー車が次々とやってきて、1回目のコンクリートが流されました。



↑ コンクリートを平らにしているところ

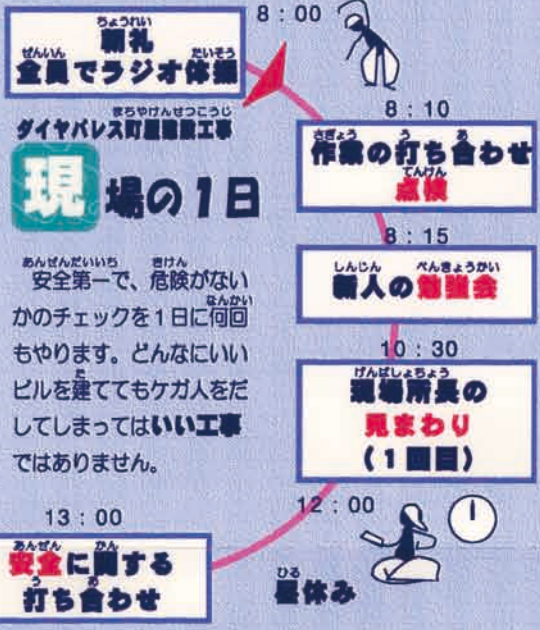


↓ ミキサー車

載せてほしいこと、質問などいつでも受けてます。



1週間ごとではないけれど学校と同じように現場にも時間割があります。朝の始まりの時間から、夕方までのスケジュールを公開！今は何をやっている時間かな。



- 17:00 残業などの状況と報告
- 16:50 作業終了片づけ
- 15:30 現場所長の見まわり(2回目)
- 15:00 休けい

## 現場の1日

安全第一で、危険がないかのチェックを1日に何回もやります。どんなにいいビルを建ててもケガ人をだしてしまってはいい工事ではありません。

安全に関する打ち合わせ

## みんなの声

見学をした4年生みんなの感想からほんの一部だけご紹介。みんなの感想は現場のひとへ届けられました。きっと今日もみんなの声を励みにがんばってるよ。

もし、下の地面に硬い土がなかったら、マンションが倒れちゃうのかな？

↑ 警

工事の前にレーザーなどで入り口に地面を調べ、倒れないような方法を考えています。

マンションを作るのに1年もかかるとは知りませんでした。

ただいま → 問い合わせ中

8階建てのビルを作るには、どれくらいの人が必要なのか？すごく時間がかかるんだな。

仕事をやる男の人を見るとかっこいいと思いました。

↑ 警

仕事だと怖くない。それだけ仕事に真剣なこと。頑張つきもちがう。

地面がすごくドロドロぐちゃぐちゃでした。

マンションを作る仕事は大変だなと思った。

↑ 警

安全には一番、気を付けています。

仕事をするときいろいろなことに気を付けたり、命がけなんだなと思いました。

赤い鉄の大きな所に水がいっぱい入っていた。あれは、どのように使うのか？

↑ 警

家を建てるときはいろいろな機械が使われることが分かった。何種類の機械を使うのかな？

↑ 警

すごい迫力で、埋め込むのが大変そうなので、覗いていた人がいました。

お兄さんが高いところののっぺい、怖くないのかなあと思いました。

↑ 警

シャベルで、いろいろなものを持ち上げることが出来るんだ。不思議だなあ。

↑ 警

マンションを作る仕事は大変だなと思った。



# まち現場レポート③



発行 平成11年6月20日

(株)京川すまいづくりセンター (担当 伊藤)

電話03-3801-8184 FAX03-3801-8376

Eメール dwork0@ibm.net



クルクル  
クルクル  
クルクル

← けっそくせん  
ハッカーと結束線を使って  
鉄筋をとめていきます。



けっそくせん  
結束線



ハッカー

う  
埋めこまれた杭。この  
穴は32m下まで続い  
てる！ →

きょだい  
巨大  
ジャングルジムだ！



→ この人が職人さん。  
めて指示する人です。職人さんさまと



二  
峡小  
4  
年生  
の  
現場見学  
第3回

6月15日は基礎（地下）部分の配筋がほぼ終わる頃でした。現場はまるで巨大ジャングルジム！ そのジャングルで職人さんが結束線（針金）をくるくる巻いて鉄筋をしっかりとめていました。こうして建物の「骨」ができていくんだね。

このみち  
30年！



とび  
工

まず、安全に組み立てるための通路をつくります。

→ そばまで近よって見せてくれました。



かたわくだいく  
型枠大工  
コンクリートを流し込むための囲いをつくっていく人。

→ こどもたちにいたづらされて大人気の作業所の本音さ



鉄筋工  
鉄筋を組み立てる人。  
3回目の見学のときにジャングルジムを作っていた人。

い  
ろ  
い  
ろ  
な  
種類  
の  
職  
人  
さ  
ん

現場で働いている職人さんはいつも同じ人というわけではありません。杭を打ったり、コンクリートを流したり、鉄筋を組み立てたり、ビルを建てるたくさんの仕事はそれぞれ専門の職人さんがやっています。中心になるのはとび工・型枠大工・鉄筋工の3役です。もっている道具も、かっこうも少しずつちがうそうです。見分けられるかな？

?

所長さんや、職人さんに分からないことは何でも聞いてみよう。

新聞の感想やのっけてほしいこともどしどし聞かせて下さい。(すまいづくりセンター・伊藤まで)





# まち現場レポート④



発行 平成11年7月9日  
(株)荒川すまいづくりセンター (担当 伊藤)  
電話03-3801-8184 FAX03-3801-8376  
Eメール dwork0@ibm.net

**二** 峡小  
**4** 年生の  
現場見学  
第4回  
1999年6月29日

使ったコンクリートの量はなんと全部で**ミキサ車、約50台分!**  
**ヒョエ〜!** (1時間に6台) 工場で作られたばかりのコンクリートはポンプ車でドンドン送られて型枠の中に流されていた。今は1日で終わる作業も昔はあのドロドロのコンクリートを作るところから始まって徹夜で(寝ないで)仕事をしていたそうです。



← ホースをあやつってコンクリートを型にながします。



ドロドロ

あんなにドロドロだったのに...  
3日後には型枠を外した。



↑ 二峡小4年生担任の山口先生。所長に検査用コンクリートを分けてもらいました。

↑ 検査用のコンクリートをわっていることもたち ↓



→  
→  
→  
3日後



学校はここ



かし  
ここには?

二峡小は今年で**80周年**です。二峡小が開校した80年前、工事中のマンションの土地は何があったの? ちょっと昔の地図を見てみよう。



かいこうじょうじ 開校当時の二峡小 (にはけ 創立70周年記念より)



1919年 (大正8年) 二峡小開校

1945年 第2次世界大戦終戦

1923年 関東大震災

1989~1990年 4年生の生まれた年

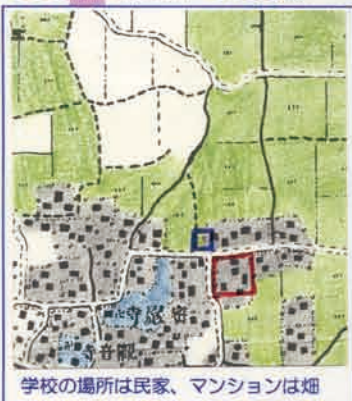
おれら、職人!



型枠大工

コンクリートを流すための箱を組み立てる人。木でコンクリートの力に負けない頑丈な箱を作ります。

1880 (明治13年) -119年前



学校の場所は民家、マンションは畑

1909 (明治42年) -90年前



学校の場所は空き地、マンションは畑

1937 (昭和12年) -62年前



マンションの場所は空き地

1957 (昭和32年) -42年前



マンションの場所は工場



# まち現場レポート 5



発行 平成11年8月13日

(株)荒川すまいづくりセンター (担当 伊藤)

電話03-3801-8184 FAX03-3801-8376

E-mail dworld@ibm.net



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6



写真7

## 7月3日 写真1

★「まち現場4」と同じ写真  
基礎(地下)部分のコンクリートが固まって、型枠をはずして

## 7月5日 写真2

基礎(地下)部分の上に仮の床をはる。(デッキプレートという薄い鉄板)その上に発泡スチロールのようなボードを敷いていく。  
(断熱材といい、熱を伝えにくい材料)

## 7月6日 写真3

1階の床の骨組みをつくる。電気が通る道(オレンジのホース)も床の中に入れておきます。(コンクリートを流すと見えなくなる)



写真4

## 8月10日

タワークレーンが"とび職人"の手によって組み立てられた。さらに工事現場らしくなっていて、子供たちもびっくりに違いない!

ますます現場がおもしろくなってきた!

コンクリートの柱や壁の中は、いんばんものが細工されているんだ

ソウの怪物? なが〜い鼻の持ち主  
ピストン式コンクリートポンプ

作業がおわった後はポンジを通してホースの中を洗う。でないとホースの中で残ったコンクリートが固まってしまうのだ。

ホースをつなげばさらに長くなるソウ。



子供たちが楽しい楽しい夏休みに入り、レポートも少しお休みしていましたが、その間にも工事は着々と進み…。毎日、気温30度以上の猛暑のなかを、職人さん達は働いています。あんなに日焼けして、寝るときに痛くないの?

## 7月9日

写真4

二 峡小 4 年生 現場見学 第5回

## 7月19日 写真5

1階の柱と壁の骨組みができてきた。(おぼえてる? 「まち現場3」のジャングルジムと同じだ)部屋の区切り方がわかるかな?

## 7月27日 写真★

1階の柱と壁の型枠(きいるの板)がだいぶできてきた。

## 8月3日 写真6

まわりに足場が組まれ、シートがかかっている。見えにくくなったのは残念だけど、安全に作業をするためには必要なものなのです。2階の床の骨組みをついている。(2階の床は1階の天井です)

## 8月7日 写真7

1階の柱と壁、2階の床とバルコニーにコンクリートを流しているところ。この日はミキサー車、約50台分のコンクリートを流した。

この日は1階のコンクリートを流しました。コンクリートを流す前の床には鉄筋の骨組みがあり(配筋といいます)、その間には各家へ電気やガスなどを送るための道(オレンジのホース)がセットされました。(配管といいます)



消火器のパンフレットを見せてもらった。地球儀の形をした消火器ともあったよ。

7月14日には二峡小で、この"レベル"を使って校庭の高さを測る授業がありました。



「こて」を使って左官職人が平らにします。



簡単そうだけどきれいに平らにするには長〜い経験がいるんです。





# まち現場レポート 6



発行 平成11年11月8日

(株)荒川すまいづくりセンター (担当 伊藤)

電話03-3801-8184 FAX03-3801-8376

Eメール dwork0@attglobal.net

二狭小 4 年生の踊りを鑑賞する

秋も深まる10月30日、二狭小の「創立80周年記念式典」が盛大に行われました。式典にはマンション現場の岡村所長も招待され、今度は岡村さんが4年生の歌や踊りを鑑賞しました。みんなの息はぴったりと合っすばらしい踊りでした。式典はとても盛り上がりました。



みんなの文集を読んで…  
所長さんは「恥ずかしいな…」。  
でもめっちゃ2、うれしそうでした。

当日記られた文集には二狭小のみんなの作文がのっています。4年生のテーマは「わたしたちのまちにすんでいる人」です。中には岡村さんも(写真のおねえさんも)登場していました。もっともっとたくさんの人といういろいろな交流をして「住みたいまち、好きなまち」にしていきたいね。



▲ 山口先生の合図でみんなり  
▼ ズミカルな踊りをひろうして  
くれました。



現場も 7かいです

夏休みが始まった頃は1かいの高さだったマンションも11月に入るともう6かいまで高くなりました。

1かいとおなじことをくりかえして2,3,4,5…と高くなっていきました。



上のかいに材料を運ぶためのクレーンはお盆前(8月10日)に組み立てられた。



8月10日  
3かいの床と壁の「型枠」工事。骨組みに板をとりつけていきます。



8月25日  
4かいの床と壁の「配筋」工事。材料はクレーンでもちあげます。



9月13日  
5かいの床と壁の「型枠」工事。外側の青色の保護シートも高くなりました。



はいきん ねむく 配筋 (骨組み)



かたわく いたは 型枠 (板貼り)



コンクリート



くりかえし



くりかえし



10月12日

1階では水道やガスのくだが通されて、風呂の箱がおかれていました。(右はしのドアのついた箱です。)